

## 第3回仙台市子ども読書活動推進計画（第三次）検討委員会 会議録

- 1 開催日 平成28年9月6日（火）
- 2 開会及び  
閉会の時刻 午後3時00分開会 午後5時00分閉会
- 3 開催場所 仙台市役所教育局第1会議室
- 4 出席委員氏名 遠藤仁委員，加茂光孝委員，今野弘子委員，今野広元委員，  
坂田邦子委員，佐藤のりみ委員，澤田直美委員，中川美佳委員
- 5 事務局職員 千石生涯学習部長，瀧澤総務課長，猪股教育指導課長，奥山生涯学  
習課長，高橋市民図書館副館長，佐藤生涯学習支援センター次長，  
西山生涯学習課企画係長，山田市民図書館奉仕整理係長，  
総務課企画調整係 佐藤主任，泉図書館 伊藤主査
- 6 会議の次第
  - (1) 開会
  - (2) 挨拶 遠藤委員長
  - (3) 協議事項
    - ①子ども読書活動推進計画（第三次）中間案について
    - ②その他
  - (4) その他
  - (5) 閉会
- 7 会議の概要
  - (1) 協議事項
    - ①子ども読書活動推進計画（第三次）中間案について
      - 事務局より資料に基づき，アンケート調査及び子ども読書活動推進計画（第三次）  
中間案について説明がなされた。以下は委員から述べられた意見。
      - ・目的として，人生を幅広くとらえていくことも大切であるため，多様性とそれからの  
深まりの両方の視点を入れたものにするのがいい。「より豊かに」という言葉を  
目的に追加するのがいいのではないか。
      - ・成果指標の目標値については，質の向上に努めることとし，達成項目も含めて現状  
を維持する方向で整理する。
      - ・成果指標の不読率の改善は，メディアや子どものライフスタイルの多様化などもあ  
り，非常に難しい。不読率の目標値としては，国の指標の中間的な段階の数値をま  
ず達成し，その経過を確認しつつ，次の目標を考えていくことが一番妥当である。
      - ・読書に対する取組はいろいろな主体で実施しているが，全市的に取組むというこ  
とがない限り，いつまでも成果が上がらないように思う。「仙台市読書週間」などを設  
定し，全市的に取組むことで保護者や一般の方にも広く啓蒙することも可能になる  
のではないか。

- ・乳幼児に対する読書支援としてブックスタート事業もあるが、現在配布している乳幼児の保護者向けブックリストを活用し、ブックリストを配布する健診時に本の読み聞かせをするなど、本に触れられる機会をつくることも大切である。
- ・19ページに学校図書事務員と記載があるが、学校図書館法上は学校司書となっているため、学校司書（学校図書事務員）というような記載にできないか。
- ・21ページの多様な読書活動の推進の取組の一つとして、学校現場で読書活動として推奨されている「読書会」を追加してほしい。
- ・22ページの図書館と学校間での図書資料の配送システムの構築の検討について記載があるが、学校図書館の本もお互いに貸し借りできるともっと可能性が広がるため、学校間同士の配送システムについても今後検討してほしい。
- ・22ページの「障害のある子ども」という表現は適切なのか確認が必要。
- ・学校における取組として、帰国子女や外国籍の子どもの取扱いについても記載が必要。

## 8 その他 特になし